

(農集 0 3 0 2) 単 0 8 0 2
小神成地区農業集落排水施設
機械設備機器更新工事

参 考 図 書

活性炭脱臭装置取扱説明書

大仙市上下水道局

中仙・太田建設水道事務所

(脱臭設備)

！警告：

正しい工具、器具を使用して保守を行って下さい。間違った工具、器具での作業は思わぬ怪我をする場合があります。

高い場所の作業は、特に安全な足場を準備してから行って下さい。不安定な足場での作業は思わぬ怪我をする場合があります。

本装置、又は一部を廃棄処分する時には廃棄物の専門処理業者に依頼して下さい。有害物質が付着したものを一般品として廃棄処分した場合、思わぬ人的被害を起こすことがあります。

！注意：

本機は、本体をFRPにて製作しております。ハンマーで叩いたり、固いもので衝撃を与えると破損いたしますので注意して下さい。

又、温度に対しても比較的弱い性質を持っていますので高温にさらされると変形、強度低下による破壊等が生じますので注意して下さい。

FRP 部分標準許容温度 : -10～70℃

本機は臭気ガス中の悪臭物質を吸着して大気中へ放出する装置ですが、臭気ガス中の物質を100%吸着処理するものではありません。

又、過飽和状態で運転された場合でも吸着塔内には臭気ガスが滞留しており直接吸った場合、身体への危険がありますので直接吸わないように注意して下さい。

活性炭の充填、取出し作業の際には粉塵が発生致します。又、活性炭には薬品も添加されておりますので、防塵マスク、保護メガネ、手袋等の適切な保護具を着用して作業して下さい。尚、扉を閉める際には、内部に人がいない事を確認してから閉じて下さい。

！危険：

吸着塔内に入る時は酸欠の危険がありますので、吸着塔内を換気した後、入ってください。又、活性炭は特殊可燃物扱いになっておりますので火気には十分注意して下さい。

1 概要

1-1 設備概要

本設備は、処理設備より発生する臭気を脱臭処理した後、大気中に放出することを目
的とした設備です。

1-2 設計条件及び保証値

- 1) 処理風量 10 m³/min
- 2) 原ガス温度 常温
- 3) 各臭気成分の目標出口濃度

臭 気 成 分	目 標 出 口 濃 度 (ppm)
アンモニア	1.0
硫化水素	0.02
トリメチルアミン	0.005
メチルメルカプタン	0.002
硫化メチル	0.01
二硫化メチル	0.009

2 機器概要

脱臭ファンから送られてくる臭気を吸着処理するためのもので、塔内には、酸性分
吸着剤、アルカリ性成分吸着剤、中性成分吸着剤の3種類の造粒炭が充填されています。

3 機器仕様

型 式	: 角型直積み式
寸 法	: 800 ^W × 800 ^L × 1800 ^H
処 理 風 量	: 10 m ³ /min
材 質	: F R P
構 造	: 活性炭 4～8メッシュ造粒炭
付 属 品	: マノメーター
数 量	: 1 基

4 運 転

4.1 運転準備

1) 装置の点検

次の項目について確認して下さい。

- ① 装置廻りに運転上の障害物がないこと。
- ② 機器類に著しい変形、変色等がないこと。
- ③ 機器類の破損等がないこと。
- ④ 機器類、ダクトなどにボルトのゆるみがないこと。

2) バルブ

活性炭脱臭装置のドレンバルブはシールポットがある場合には“開”とし、シールポットに注入を行って下さい。また、シールポットがない場合にはドレンバルブは“閉”とし、定期的に水抜きを行って下さい。

3) 活性炭吸着塔

活性炭吸着塔内部には、活性炭が充填されています。

これらは、装置設置時点で入念に施工されていますので、当初の運転時には点検の必要はありません。

尚、活性炭充填量は次に示す通りです。

メーカー名 : 味の素ファインテクノ

	<商品名>	[充填量]	[寿 命]
一般炭	YF	310	約 12 ヶ月

5 活性炭の交換方法

活性炭は寿命(約 12 ヶ月)が来たら必ず次の手順により交換して下さい。

- ① 活性炭吸着塔の活性炭取出し口を開け、活性炭を掻き出し具等にて全量取出して下さい。
尚、破過した活性炭は、紙袋等に詰めて処理して下さい。
- ② 活性炭投入口を開け、活性炭を規定量投入して下さい。投入終了後、投入口を閉じて下さい。

6 長期間停止時のメンテナンス

- 1) 長期間停止の場合は、2週間に1回は各機器を数時間運転して下さい。
- 2) 給油の必要な機器は定期的に給油して下さい。尚、給油後は必ず数時間運転して下さい。